
ずっと一緒にいてね？

ルナトゥーン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ずっと一緒にいてね？

【コード】

N2953Z

【作者名】

ルナトウーン

【あらすじ】

美幸と白斗の恋です。ちょっとエロい場面もあるかもしれないのでご注意ください。

ずっと一緒にいてね？（前書き）

初めての恋愛小説です。感想ください！苦情でも良いんでWWW

ずっと一緒にいてね？

「ああああああ、寒っ！」

私、島田美幸、高2です。

「あーもうっ、なんでこんな時にマラソンなの？」

ぼぶっ

「うっきゃー！」

落ちてきたものはジャージだった。

「俺寒くないから使わせてやるよ。感謝しろよ？」

幼なじみの白斗^{はくと}だ。こんなやつだけど、私はこいつに恋をしてしまった。

「うっさい！もうっ。」

「あはは」

親友の真由が私の隣に走ってきた。

「美幸は良いな〜モテモテの白斗君とこんなに仲がいいなんて。まあ、私は気にしないけど。私は断然北斗君派だから？」

北斗は、私の幼なじみであり、白斗の双子の兄でもある。

「そうかな？あいつのどこがいいの？」

あいつが好きな私が言うのもなんだが、なんでモテるんだ？

「おい！お前達速く走れ！」

うげ。体育の先生山本先生だ。

「す、すみません！」

私たちは速く走った。

体育がやっと終わった。

「疲れた〜・・・」

白斗が飛びついてきた。

「美幸〜？」

サッ

私はよけた。

白とは壁に正面衝突した。

「痛てて・・・」

その場にうずくまった。

「バカじゃない？」

私はくるっと回って帰ろうとした。

「待てい！」

抱きついてきた。

「きゃっ！」

復活早！

白斗は私の手を引っ張り、壁に押し付け顔を私の顔に近づけた。

「俺、美幸が好き。」

え？

<続く>

ずっと一緒にいてね？（後書き）

うーん次はちょっとエロくなるかも・・・。

ずっと一緒にいてね??

「え?」

白斗は強引にキスをしてきた。

「んっ・・・あんっ!」

白斗は手を私の服の中にいれ、ブラジャーを外した。

「やっ!んん・・・」

「その口塞いでやる。」

わたしの胸を揉んだ。

「んん・・・っ!」

最初は優しくかったが、徐々に激しくなってきた。

「はあ・・・はあ・・・っ」

これだけでこんなに感じる私。恥ずかしい。やめさせようとしたが、気持ちがいすぎてできない。

白斗は私の服を脱がせ、上半身裸の私を見つめた。

「やだ・・・そんなに見ないでよ・・・」

白斗は少し笑い、私の首筋を舐めた。

「ああん・・・」

どんどん下に行き、乳房を舐めた。

「あっ！」

白斗は、乳房を集中的に舐めた。

「白斗お・・・私も好きだよ？というよりこじゃばれちゃうよ
お・・・」

「放課後だし大丈夫さ。でも、落ち着かないな。美幸の家で続けよ
うぜ？美幸一人暮らしたろ？」

「うん・・・いいよ。」

私はせつせと服をはき家に向かった。

<うじづく>

ずっと一緒にいてね?? (後書き)

うーん初めてだからあまり刺激的じゃなかったな・・・。次はお仕置きもの書こうかな？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2953z/>

ずっと一緒にいてね？

2011年12月10日15時00分発行